



つなぐ

令和7年12月 No.2
発行: 松ヶ枝地区
小中一貫教育推進委員会

中1ギャップ解消のためのアンケートより

松ヶ枝地区小中一貫教育推進委員会では、中学校1年生を対象に中学校生活についてのアンケートを実施し、結果を小学校の児童や保護者にお知らせする取組を行っています。これは、小学校から中学校への進学において、学習や生活が新しい環境に移行する段階で授業についていけなかったり、不登校やいじめが起こったりする、いわゆる「中1ギャップ」の解消を目指したものです。

アンケート結果は、小中学校の教職員で共有し、児童生徒が安心して通える学校づくりに生かしていきます。また、このアンケートを通して、中学生は自分の生活を振り返り今後の生活に目標を持てるように、小学生は見通しや希望をもって中学校に進学することができるようになることも期待しています。

質問1. これまでの中学校生活の中で、目標や頑張った（頑張っている）ことを教えて下さい。

勉強	35件：「定期テスト前の勉強」「授業に真剣に取り組む」「勉強と部活の両立」「自主学習を頑張った」など
部活動	20件：「部活を休まない」「大会で自己ベストを出す」「部活と勉強の両立」「陸上を頑張った」など
生活習慣・態度	9件：「早寝早起き」「忘れ物をしない」「人にやさしくする」「敬語を意識する」
その他	10件：「委員会や係活動」「清掃」「進路を考えること」「運動」など

「勉強」と「部活動」に関するものが多くを占めており、中学校の授業内容についていくことや、定期テスト等で高い成績をとること、部活動で力をつけていくことにモチベーションを持っている生徒が多いことが分かります。

質問2. 中学校生活のよいところを教えてください。（楽しいこと、うれしいこと等）

学校行事	44件：「市内研修が面白かった」「体育祭で盛り上がった」など
先生	10件：「先生が優しい」「先生が面白い、個性豊か」「授業がわかりやすい」など
部活動	10件：「部活が楽しい」「部活で先輩と話せる」など
異学年交流	10件：「先輩が優しい」「他の学年と関われる」「他学年の友達が増えた」など
休み時間	10件：「休み時間が10分ある」「体育館でボール遊びができる」「音楽室に行ける」など
自由・生徒主体	10件：「小学校よりも自由」「きまりが厳しくない」「生徒主体で決めることが多い」など
その他	16件：「友人関係」「授業・勉強が面白い」など

8割程度の生徒が「行事」に関することを挙げており、多くの生徒が楽しんで学校行事に参加することができていることが分かります。また、校内の人間関係の良さや、生徒の主体性を生かせる自治的な風土も評価されています。

質問3. 中学校に進学して、「小学校とちがうなあ。」と思ったことを教えてください。

学習の難化	25件：「勉強が難しい」「テストが難しい」「ワーク提出がある」「宿題が減った」「授業スピードが速い」など
部活動の存在	13件：「部活がある」「部活で帰りが遅くなる」「部活がガチ」など
休み時間	10件：「中休みがない」「10分休みなところ」など
自由・生徒主体	6件：「自由なところ」「自己責任なところ」「生徒が中心になって動かす」など
教科担任制	5件：「教科によって先生が変わるところ」など
その他	16件：「授業時間が長い」「給食の量」「校舎の設備」「掃除の仕方」「移動教室」など

「勉強の難化」と「部活動の存在」が、小学校との大きな違いとして最も多く認識されています。また、小学校と比較して生徒の主体性や自由と責任が重視される部分も挙げられています。

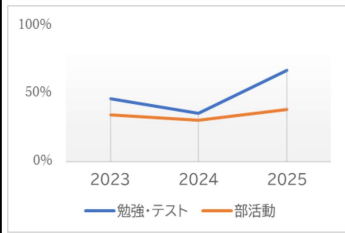
質問4. 中学校生活と小学校生活との違いで困った（困っている）ことや戸惑った（戸惑っている）ことがあれば教えてください。

特になし	42件：明記 無回答
学習の難化	3件：「授業スピードが速い」「テスト範囲が広い」「点数がとりにくい」
人間関係	3件：「上下関係が難しい」「他学年との接し方がわからない」
忙しさ	2件：「部活や委員会で忙しい」「委員会のやるが増えた」
その他	3件：「校則」「校舎の設備」

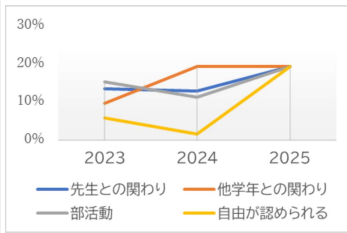
回答者の8割以上が「特になし」と回答しており、多くの中学生が小学校生活と中学校生活の違いに順応している様子がうかがえます。しかしながら、一部生徒については学習や人間関係に困感を示しており、個別のケアによる対応が適切であることがうかがえます。

令和5年度から7年度までの比較から

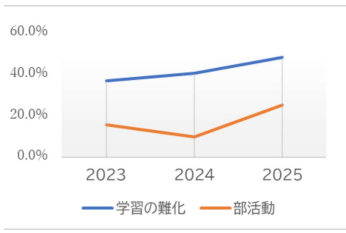
質問1：これまでの中学校生活の中で、目標や頑張った（頑張っている）ことを教えてください。



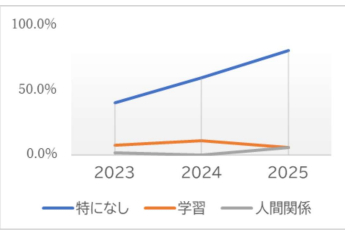
質問2：中学校生活のよいところを教えてください。（楽しいこと、うれしいこと等）



質問3：中学校に進学して、「小学校とちがうなあ。」と思ったことを教えてください。



質問4：中学校生活と小学校生活との違いで困ったことや戸惑ったことがあれば教えてください。



■今後の小中一貫教育の取組 ～アンケートの結果を受けて～

中学1年生が頑張ることは「勉強」と「部活」とあるという傾向は3年間変わっていません。また、小学校との違いを最も感じる点としても、学習の難化が挙げられており、中1ギャップの解消を目指すうえでの重点であると考えられます。学習の接続については今後も重点課題として、連携して取り組んでまいります。

「よいところ」として「先生」「友人・先輩」を挙げる声が安定または増加しており、良好な人間関係が築かれている様子がうかがえます。また、「自由が認められる」「生徒主体の活動が多い」ことについても増加しており、生徒会主体のルール作りや各種活動を拡充したことが影響していると考えられます。小学校で培われた、主体性や、学習・生活規律をベースに、中学校において自由と責任を感じてできる自治活動の推進を今後も進めてまいります。

小学校体育専科のための加配教員を始めとする小中間教職員の連携と情報共有によって、中1ギャップによる困り感を持つ生徒が減少したと考えられます。今後も連携と情報共有を継続するとともに、中学校進学後の個別のケアを重点化してまいります。

小中一貫教育 2学期の取組

■中学校体験入学

山の手小の6年生が松ヶ枝中に行き、授業の様子を参観しました。また、生徒会書記局作成の学校説明スライドをもとに学校生活について説明を受けたり、質疑応答を行ったりしました。

■部活動体験会

山の手小の6年生の希望者が松ヶ枝中に行き、中学生に説明を受けながら部活動を体験しました。バレーボール・バドミントン・陸上競技部の体験は中学校PTAと連携して休日に、文化・美術部の体験は平日に実施（本年度は美術部の体験参加者無し）し、大変楽しそうに活動する児童の姿が見られました。

■研究授業交流

松ヶ枝中・山の手小でそれぞれ実施した公開研究授業を互いに参観しました。また、中学校の校内研修に小学校教員が参加し、より多角的な視点での授業研究をすることができました。互いの授業を見ての気づきを、次年度の教育活動に生かしてまいります。

■特別支援教育交流会

特別支援教育に関わる小中学校の全担当者が集まり、情報共有を行うとともに、特別支援教育のあり方について話し合いました。

■いじめ防止サミット

小中学校の児童会と生徒会がオンライン会議で「いじめをしない させない みのがさない ゆるさない」をテーマに、いじめを防止するためにできることや今後の取組について話し合いました。いじめ防止のポスターを児童会・生徒会で作成したり、生徒会がいじめ防止に係る動画を作成して小学校に提供したりするなどして、啓発を進める予定です。

■第2回 中1ギャップ防止のためのアンケート

今回は、中学1年生がこれまでの中学校生活の経験をもとに、小学生へのはげましの言葉や、中学校進学へ向けてのアドバイス等を考えてくれました。アンケート内容は小学6年生へ共有し、中学校進学へ向けての見通しに役立ててもらいます。

3学期の主な活動予定	
1月	年度末反省
2月	第2回小中一貫教育推進委員会全体会・一斉部会 小学校スキー授業補助 小学校卒業生の引継ぎ 小中合同学校運営協議会 理科の中学校教諭による小学校授業参加・意見交流
3月	小中一貫だより№3 発行